

思母校へありがとうの 思いを胸に未来へ！

令和3年4月、中浦・天王・荒橋・本田の4つの小学校を統合し、「豊浦小学校」が開校します。また、七葉小学校には菅谷小学校の児童が仲間入りし、「新生・七葉小学校」として生まれ変わります。大空に浮かぶ色鮮やかな気球は、子どもたちや地域の方々の学校への感謝、そして新たな学校生活への夢や希望を乗せて、未来へと向かっていきます。



中浦小学校



自然豊かな真木山近くにあり、148年の歴史を持つ中浦小学校。校舎は増築され、豊浦小学校として新しくスタートします。

荒橋小学校



創立から147年で2500人を超える卒業生を送り出した荒橋小学校。地域の方に支えられ、築いた伝統は豊浦小学校へと引き継がれます。

本田小学校



月岡温泉街の近くに位置し、147年の伝統がある本田小学校。春には学校の玄関前が、子どもたちの育てた花でいっぱいになっていました。

天王小学校



147年の歴史があり、福島潟などの自然に親しむ教育を大切にしてきた天王小学校。校舎内のクスノキに見守られながら、多くの子どもたちが卒立っていました。

七葉小学校



旧中倉小学校と旧加治小学校・同加治分校が統合され、七葉小学校が誕生して51年。4月からは新生・七葉小学校として出発します。

菅谷小学校



旧下中山小学校と旧石川小学校との統合後、40年の歴史を刻みました。校区内には菅谷寺などの史跡があり、児童たちは「お不動様」に見守られ育ちました。

新発田市教育委員会

教育長 工藤 ひとし



保護者の皆様、地域の皆様には、ふるさと新発田への愛着と誇りをもち、夢や希望に向かって学び続ける子どもたちを育むため、新たな学校においても、引き続きご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

皆さんには無限の可能性があり、未来の宝物なのです。大切な人である一人ひとりが、新しい友との出会いを喜び、明るくあいさつを交わし、共に学び、仲間と心を一つにして、新たな学校の伝統を築き上げていってください。保護者や地域の皆様が、その姿を見て、勇気と元気を貰ったと、きっと喜んでくださることでしょう。期待しております。

私が、子ども達に伝えたいことは、「あなたは世界中に一人しかいない、大切な人であること」です。

皆さんには無限の可能性があり、未来の宝物なのです。大切な人である一人ひとりが、新しい友との出会いを喜び、明るくあいさつを交わし、共に学び、仲間と心を一つにして、新たな学校の伝統を築き上げていってください。保護者や地域の皆様が、その姿を見て、勇気と元気を貰ったと、きっと喜んでくださることでしょう。期待しております。

令和3年4月、豊浦小学校と七葉小学校の2校が、新たなスタートを迎えるました。新しい友達や先生と迎える新たな学校生活、新たな校史の始まりです。これまで長年にわたり、統合前の各小学校を支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

それぞれの地域の皆様や卒業生にとって、統合に伴い学校が閉校することは、たいへん寂しく残念なことだと思います。しかししながら、子どもたちの成長過程においては、より多くの集団の中での社会生活への適応力を磨き、グループでの学習活動が行えるなど、教育環境を整えていくことも重要です。将来、皆様にこの選択が正しかったと思っていただけのよう、教育委員会も不斷の努力を続けてまいります。

令和3年4月、豊浦小学校と七葉小学校の2校が、新たなスタートを迎えた。新しい友達や先生と迎える新たな学校生活、新たな校史の始まりです。これまで長年にわたり、統合前の各小学校を支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

工藤教育長からのメッセージ

ありがとう、私たちの母校



荒橋小学校

… 教育目標 …

よく考え 進んで やりとおす 明るい 荒橋の子ども

物事に取り組む積極性や根気強さを身に付けながら、ふるさとへの愛着心を持つ子どもの育成を目指してきました。児童の「できた」という喜びを自信につなげられるよう、体験活動にたくさん取り組みました。

各校では、より良い学校づくりを進めながら、おおぜいの児童を育んできました。成長を見守ってくれた学校との別れを前に、子どもたちはたくさんの思い出を作り、母校や地域の方へ感謝の思いを表していました。



中浦小学校

… 教育目標 …

ぐんぐん伸びる子

全校児童が自信を持ってチャレンジできる環境を作ることを第一に考えてきました。また、「中浦小最後の一年。豊浦小の土台を築く一年。しかし、どの一年も大切な一年」の思いをみんなで共有し、中浦小学校としての最後の時間を過ごしました。



本田小学校

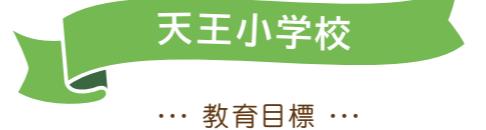
… 教育目標 …

自ら きたえる

一人一人の個性を大切にし、児童が主体的に物事に取り組めるよう、成長を促してきました。子どもたちの良さを引き出し、それを広げるとともに、全校児童の絆を大切にしながら「本田小のラスト」となる思い出づくりを行いました。



閉校記念式典では、月岡温泉地区に古くから伝わる「宝来太鼓」を披露しました



… 教育目標 …

目輝き真理を求める 笑顔はじけ仲間と集う 額に汗し自分を鍛える

児童が、夢や希望をかなえるために必要な力を身に着けることのできる教育を行ってきました。閉校を前に、子どもたちが地域への愛着心をよりいっそう持てるよう、住民との交流を積極的に行いました。



閉校記念式典では地域の方を前に合唱を披露し、美しい歌声を会場に響かせました



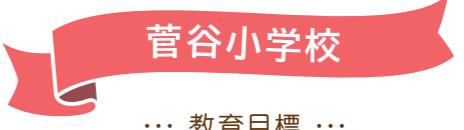
… 教育目標 …

自分を高め みんなとともに 生きる子ども

「笑顔あふれる七葉」をキーワードに、友達と共に感し合える人間関係を築き、ともに学び合える子どもの育成を目指してきました。これからも、さらに笑顔があふれる楽しい学校づくりを行っていきます。



奉納した「大わらじ」とともにみんなで記念撮影。学校の歴史に新たな1ページを刻みました



… 教育目標 …

よく考え 心豊かな たくましい子ども

のびのびと自分を表現できるよう、児童の「知・徳・体」を伸ばす教育を進めてきました。また、子どもたちが未来に向かって歩めるように願いを込めた大わらじを地域の方が作成するなど、地域全体で子どもを見守っています。

友達づくりはドキドキワクワク！！

これまでの交流アルバム

新たな学校生活に向けて交流を重ねた子どもたちには、少しずつ「同じ学校の仲間」という思いが芽生えていた様子。仲間と過ごす毎日への期待が高まります。

七葉小学校 新たな「絆」づくりへの第一歩

七葉小学校では異学年でグループ分けした「絆班」の活動を、菅谷小学校では全校で人権問題やいじめについて考える「絆集会」を行うなど、それぞれ「絆」を大切にしてきました。これからは一つの学校として、強い絆で結ばれます。

6年 小林 込壽さん
(旧菅谷小学校)

今までいっしょだった友達とクラスが別になるのは不安だけど、友達をたくさん作って遊びたいです

新6年生はお互いの学校について紹介し、理想の学校について考えました

6年 佐藤 夏歩さん
(七葉小学校)

追いかけっこやゲームですぐに仲良くなりました

6年 渡辺 泰丞さん
(旧本田小学校)

菅谷小学校の友達と良いところや直した方がよいことを教えて、より良い学校にしたいです

6年 渡邊 椿さん
(旧天王小学校)

今までいっしょだった友達と一緒に早く遊びたいです。また、豊浦小学校の6年生として学校をまとめてみたいです

6年 齋藤 葵さん
(旧荒橋小学校)

交流会の後は、「4月に会おうね！」と別れを惜しむ児童も

豊浦小学校 心寄せ合い、手を取り合って仲間になろう

お互いの学校を訪問し、レクリエーションなどを行ってきた4校。みんなで輪になって会話を楽しむなど、和気あいあいとした雰囲気に包まれていました。

6年 中村 咲妃さん
(旧中浦小学校)

楽しい交流会の記念にみんなで集合写真！

新しい友達が増えるのが楽しみです。全ての学年が仲良く、明るい学校にしたいです

6年 渡辺 椿さん
(旧天王小学校)

自然教室では、1泊2日の時間をともに過ごし、仲を深めました

6年 佐藤 夏歩さん
(七葉小学校)

本田小学校がなくなるのは寂しいけど、豊浦小学校を良い学校にしたいです。遊びも勉強もがんばりたいです

6年 齋藤 葵さん
(旧荒橋小学校)

校舎を見学して課題に挑戦！中浦小学校の児童が率先して案内していました

6年 渡辺 泰丞さん
(旧本田小学校)

保育園の時にいっしょだった友達と久しぶりに遊べるので、楽しめます。授業では積極的に発言したいです

地域のみんなで作る新しい小学校

この春、豊浦小学校と七葉小学校の新たな歴史が始まります。統合前の小学校での思い出はしつかり心に刻み、子どもたちは新たな母校で未来に向かって一步を踏み出します。

豊浦小学校

ふるさと豊浦の情景が目に、心に浮かぶ
新しい校章・校歌を紹介します

校章に込めた思い



校章

4つの輪は統合前の学校を児童の顔として表現し、想いを一つにすることをイメージしています。子どもたちが協力し、夢を持って明るい未来を目指せるようにとの願いを込めました。

水色と緑色の配色は、福島潟や真木山といった豊浦地区の自然を表しています。

三大空に白鳥はばたく
豊浦の輝く未来
絆紡いで
みんなで創ろう
手を取り合って
大きく開こう
心よせ合って

一 真木山の緑映える
豊浦の沃野に育つ
稲穂のように
真っ直ぐ伸びよう
ゆめを抱いて

校歌

校歌に込めた思い

歌詞にある「真木山の緑」と「稲穂」は、夢を膨らませる子どもたちの姿を表現しています。また、児童の笑顔あふれる学校の様子を、豊浦地区の花・あじさいになぞらえています。



▲先生の指揮に合わせて、みんなで合唱！

みんなで歌う はじめての校歌

2月から3月にかけて、旧中浦小学校に4つの小学校の児童が学年ごとに集まり、新しい校歌を練習しました。先生から歌い方のポイントを教わる時に熱心に耳を傾けていた子どもたちは、音楽が流れるとのびのびと元気な歌声を響かせていました。



七葉小学校

七葉と菅谷を一つに
これから
七葉小学校での学び

これまで地域との絆を大切にしてきた七葉・菅谷の両小学校。児童は、校外学習などで地元の人々・自然・文化など多くのものに触れてきました。一つとなった学校では、子どもたちが住む地域の魅力を互いに教え合い、学びを深めることで、新生・七葉小学校の児童として、郷土愛を育んでいきます。



▲出された意見は翌年度の教育活動に役立てられます



学び① 七葉・菅谷探検隊

まち探検などを通じて、自分たちが暮らす地域の良いところや自慢できることなどについて考え、学習の成果を発表します。今年度は、3年生が菅谷特産のりんごや菅谷寺、要害山の歴史などについて学ぶ予定です。

学び② 七葉の明日を語る会

統合前の七葉小学校では年に一度、児童や保護者、教職員などが集まって地域の今後について話し合ってきました。今後は七葉・菅谷両地域の皆さんのがこの会での交流を通じて、校区の将来について考えていく計画が立てられています。

2つの地域をつなぐ歴史

◆ 菅谷寺（菅谷不動尊）
源頼朝の叔父にあたる護念上人が鎌倉時代の初期に創建し、日本三大不動尊の一つとも言われています。佐々木盛綱は七葉・菅谷の両地域の歴史的なつながりを感じることができます。



◆ 七葉の松の伝説
かつて、この地を治めていた佐々木盛綱が家臣に命じ、ほら穴で発見した7つの宝を要害山に埋めさせ、目印に五葉の松を植えたところ、いつの間にか「七葉の松」に変わっていましたと言われています。この伝説は学名の由来になっています。